

令和4年度 第62回 大学院セミナー

令和5年 1月 16日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	新興ウイルス感染症学分野 責任者名(安田 二郎) 内線(7848)
演題 Title	PD-1 combination therapy with IL-2 modifies CD8+ T cell exhaustion program
講師等 Presenter	端本 昌夫 博士 Emory Vaccine Center and Department of Microbiology and Immunology, Emory University School of Medicine, Atlanta, USA
概要 Abstract	<p>PD-1 (programmed cell death 1)とそのリガンドであるPD-L1を介する免疫抑制性経路は慢性感染症やがんにおけるT細胞疲弊(T cell exhaustion)に重要な役割を担っており、現在様々ながんを対象としてPD-1経路を標的とした免疫療法が有効な治療法として用いられている。しかしながらPD-1標的療法単独で治療効果が認められるのは一部のがん患者に限られているため、さらに良好な治療効果を得ることを目的としてPD-1標的療法と別の治療法の併用免疫療法の研究が現在盛んに行われている。こうした併用療法の有望な候補の一つとして共通γ鎖(common γ chain)サイトカインであるIL-2(interleukin-2)が挙げられる。現在、がん患者を対象としてPD-1標的療法とIL-2療法の併用が数多く行われていることから、この併用療法が相乗効果を示すことの機序を理解することが重要である。</p> <p>リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス(lymphocytic choriomeningitis virus, LCMV)慢性感染マウスモデルを用いてこのPD-1標的療法とIL-2療法の相乗効果の免疫学的な機序について解析して得られた知見を本講演で供覧する。</p> <p>Hashimoto et al. Nature 610(7930):173-181, 2022. Codarri Deak, Nicolini, Hashimoto et al. Nature 610(7930):161-172, 2022.</p>
開催日時 Date and Time	令和5年2月7日(火) 15:00 ~16:00
開催方法	高度感染症研究センター1F 大会議室
備考 Notes	問合せ先:柳 雄介(高度感染症研究センター 内線 8501 or Email:yyanagi@nagasaki-u.ac.jp) Contact Prof. Y. Yanagi at ext. 8501 for questions regarding this seminar.

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)